

令和5年10月25日

京都市長 門川 大作 様

公設単独ショートステイの今後の方向性について

京都市高齢者施策推進協議会では、介護保険制度創設から20年以上を経過し、介護サービス提供施設を取り巻く環境も大きく変化している中、公設単独ショートステイについて、地域ニーズに合っているか、今日的な状況を勘案して今後の在り方を考えるべきという意見があったことから、公設単独ショートステイの今後の方向性について、令和5年7月から検討を行ってきました。

この度、本協議会として、介護保険事業計画ワーキンググループでの検討結果等を踏まえ、「公設単独ショートステイの今後の方向性について」を取りまとめましたので、報告します。

京都市におかれては、今後、本提言の趣旨等を踏まえ、公設単独ショートステイの今後の方向性を検討し、対象施設がよりニーズが高く、安定した運営が期待できる事業への転換など、必要な対応をされることを念願します。

京都市高齢者施策推進協議会
会長 福富 昌城